

食品関連企業の視察を実施

ACTIVE KUMIAI

山梨県食品工業団地協同組合青年部(鈴木浩文部長)は、11月7日(日)～9日(火)の日程で中央会の青年部研究会事業を活用し、「ものづくり企業の理念と品質管理に対する取り組みを学ぶ」をテーマに北海道の食品関連企業の視察研修を実施した。

今回は、企業理念を確立し、原材料から商品まで一貫した工程管理を行い、厳しい品質管理のもとで製品を造っており、また、工場見学会等を通し、その取り組みを的確に情報発信している企業を訪れた。研修の内容は次のとおり。



工場見学開催

「誰よりもお客様の近くに。そして、もっと豊かなひとときを。」を品質方針として掲げ、①お客様満足度の向上、②安全・安心な商品・サービスの提供をするために、社員一人ひとりがそれぞれの立場で、品質の信頼性向上に努めているという。また、苦情対応としては、顧客センターを設置し、システマ的に対応し、全工場でその情報を共有しているそうである。

石屋製菓(株)白い恋人パークは、品質管理はISOの認証取得をしており、その基準に基づいて行っている。不祥事への対応としては、小袋に賞味期限が印字されていないために、人為的に古いものが混入された事件の際は、新聞広告、回収費用で、数億円の費用をかけて対応した。現在は、小袋の賞味期限印字機、箱詰め、包装、検品までの一貫ラインを整備し、従業員教育を徹底することにより再発の防止に努めている。



ニッカウヰスキー北海道工場外観

ニッカウヰスキー(株)余市蒸留所は、素晴らしい自然環境の中で、伝統を守りながら、製品作りへのこだわりを持ち続ける姿が物語となっており、ホスピタリティが徹底されている。

研修を通じて学んだことは、「継続は力なり」であり、日々少しずつ改善などを行うことが永続的な企業経営につながるということである。